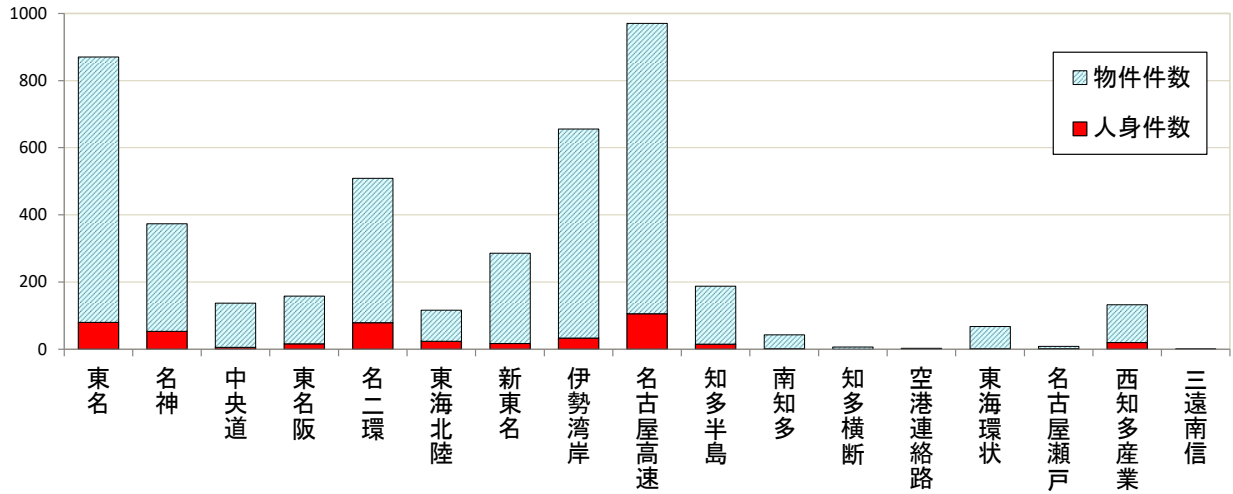


# 令和2年中の交通事故発生状況(高速隊調べ)

## ○路線別

(件)

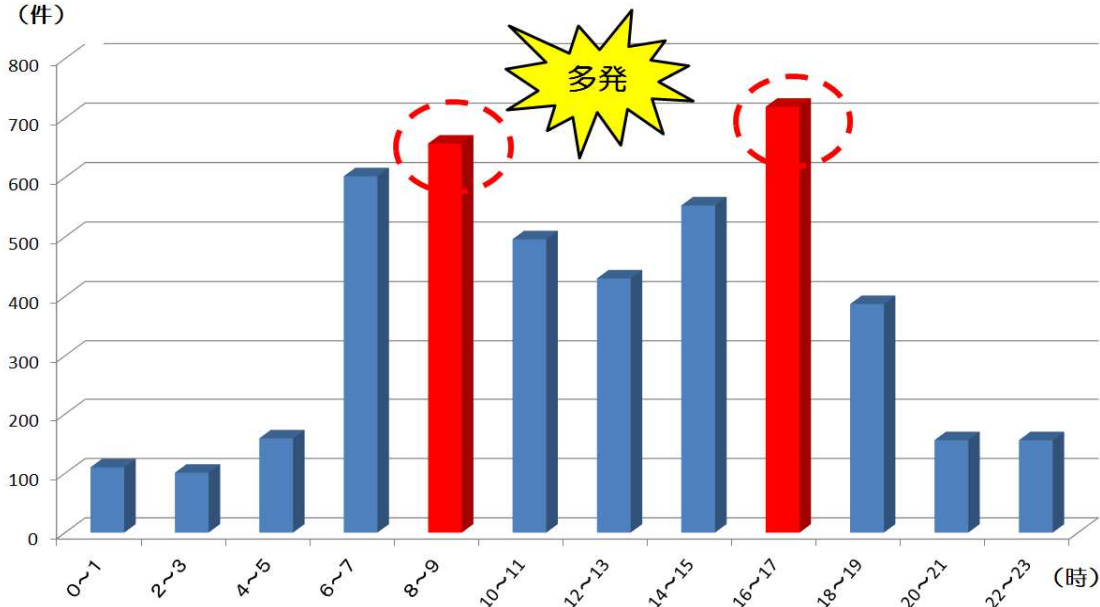


路線	東名	名神	中央道	東名阪	名二環	東海北陸	新東名	伊勢湾岸	名古屋高速	知多半島	南知多	知多横断	空港連絡路	東海環状	名古屋瀬戸	西知多産業	三遠南信	合計
人身件数	80	53	6	16	79	24	17	33	106	15	2	0	0	2	2	20	0	455
うち死亡	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
物件件数	790	321	131	142	430	92	269	623	864	173	41	7	3	66	6	112	1	4071
計	870	374	137	158	509	116	286	656	970	188	43	7	3	68	8	132	1	4526

★人身事故・物件事故ともに名古屋高速で多発！！  
 ★新東名では開通以来5年連続で死亡事故が発生。

## ○時間帯別

(件)

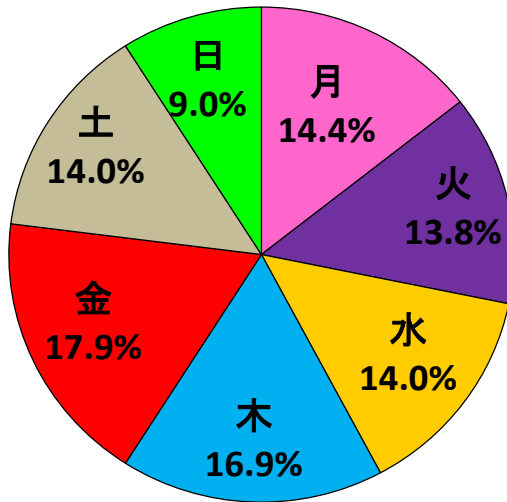


時間	0~1	2~3	4~5	6~7	8~9	10~11	12~13	14~15	16~17	18~19	20~21	22~23	合計
件数	110	101	159	602	657	496	430	553	719	387	156	156	4526
うち死亡	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3

※件数は物件事故、人身事故の合計件数

★渋滞が発生しやすい朝夕の時間帯に多発している。

○曜日別

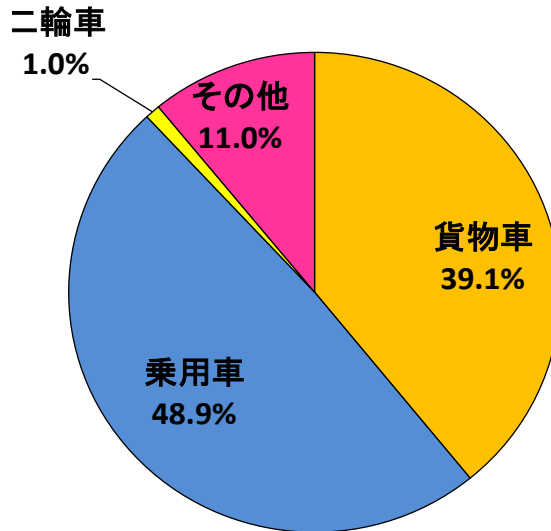


曜日	月	火	水	木	金	土	日	合計
件数	653	623	633	763	812	633	409	4526
うち死亡	0	0	1	1	0	0	1	3

※件数は物件事故、人身事故の合計件数

★金曜日に多発。  
 ★発生件数が少ない日曜日にも**死亡事故**が発生！  
 ※過去10年間で見ると週末（土、日）の死亡事故の割合が高い（4割以上）

○車種別



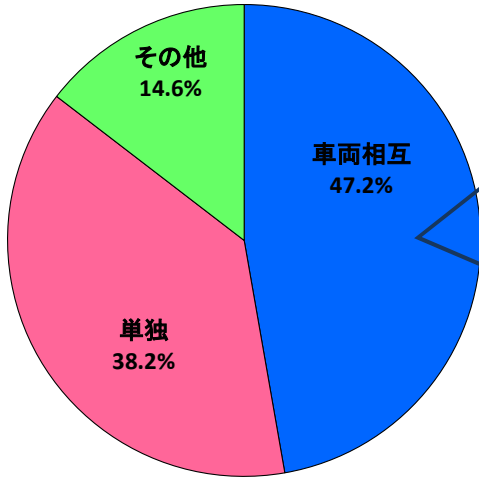
第一当事者の車種	貨物車					乗用車					二輪車	その他	合計
	大型	中型	準中型	普通	軽四	大型	中型	準中型	普通	軽四	自二		
件数	457	259	254	626	174	15	1	7	1,847	345	45	496	4,526
うち死亡	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3

※件数は物件事故、人身事故の合計件数

※「その他」は、第1当事者が歩行者の場合、当て逃げや飛び石などによる事故で第1当事者が不明の場合の件数

★事故の第1当事者の約半数が乗用車となっている。  
 ★死亡事故はすべて貨物自動車が**第一当事者**。

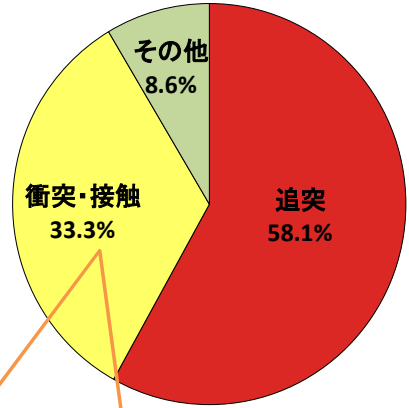
○類型別



形態	車両相互	単独	その他	合計
件数	2,138	1,729	659	4,526
うち死亡	2	1	0	3

※件数は物件事故、人身事故の合計件数  
 ※「その他」は、人対車、飛び石および不明（調査

車両相互の内訳



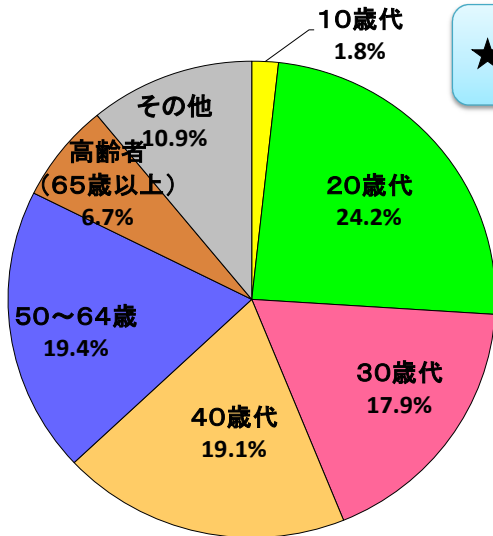
衝突・接触  
 進路変更時の衝突、本線への流入流出時の衝突、走行車両への接触など

車両相互	追突	衝突・接触	その他	相互計
件数	1,242	713	183	2,138
うち死亡	2	0	0	2

※「車両相互 その他」は、サービスエリア、パーキングエリア内、インターチェンジ等での事故や、いずれにも当てはまらない事故

- ★類型別では、車両相互が半数を占めている。
- ★車両相互の内訳は、半数以上が追突となっている。
- ★「追突」での死亡事故が多い（3件中2件）。

○第1当事者年代別



★20歳代の事故発生件数が最も多くなっている。

第一当事者の年代	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50~64歳	高齢者 (65歳以上)	その他	合計
件数	80	1097	808	866	877	303	495	4,526
うち死亡事故	0	1	0	1	0	1	0	3

※件数は物件事故、人身事故の合計件数  
 ※「その他」は、当て逃げや飛び石などによる事故等で第1当事者が不明の場合の件数